

★東北大に災害科学研

東北大は、文系、理系を問わず多分野の専門家が連携して、総合的な防災研究を目指す

「災害科学国際研究所」を設立、東日本大震災級の巨大地震のメカニズム解明に乗り出した。

被災地にある総合大学として地震予知など

で被害を軽減できなかった反省を踏まえ、災

害への対処を見直し、新たな防災の枠組みをつくるのが狙い。同じ被災地の福島大、岩手

大とも協力、東京電力福島第一原発事故を受けた除染や放射線などの研究も進める。

研究所は、四月に設立。拠点となる施設

は、今年秋から東北大

の青葉山キャンパス(仙台市青葉区)に建設を始め、二〇一四年二月の完成を目指している。

従来の災害研究は地震学など理科系の研究者が中心だったが、研究所では文系分野も含めた約八十人の研究者が集結した。